

注意していただきたいこと5点

- ①国際トーナメントはメジャー、インターミディエット全日本選手権の2つ。連盟・ブロック・地区予選の初戦から開始
- ②最もベースになる基準は「国際トーナメント」で「敗退しているか」「勝ち続けているか」
- ③トーナメントチームは国際トーナメントの初戦（連盟・ブロック・地区予選）からトーナメントチーム
- ④「連盟外」とは、連盟外と連盟外リーグとの試合、練習。会場が連盟内でも連盟外リーグを招待は「連盟外扱い」
- ⑤第2トーナメントに移行するときは、「登録に空きがある」「すでに登録済の選手を排除しない」などの条件あり

部門	状況	チームと選手出場の内容	可否	→	状況	可否	→	状況	可否
50-70部門 (11歳~13歳)	敗退後	・選手(10歳~12歳)のメジャー部門登録は?	○	→	連盟予選で勝利	×	→	優勝後日本選手	×
		・選手の国内全国大会(MLB、選抜)連盟内予選は?	○			○			×
		・選手の国内全国大会(MLB、選抜)本大会は?	○			×			×
		・連盟間の交流大会(東西大会や関東大会)への連盟内予選の出場は?	○			○			×
		・連盟間の交流大会(東西選手権や関東大会)への本大会の出場は?	○			×			×
		・連盟内での試合、練習。連盟内リーグとの試合、練習は?	○			○			×
		・連盟外での試合、練習。連盟外リーグとの試合、練習は?	○			×			×
		・海外交流大会(遠征、招待)への出場は?	○			×			×
		・U12日本代表などの出場は?(該当年齢選手)	○			○			○
		メジャー部門 (10歳~12歳)	敗退後			・選手(11歳~12歳)のインターミディエット部門登録は?			○
・選手の国内全国大会(MLB、選抜)連盟内予選は?	○			○	×				
・選手の国内全国大会(MLB、選抜)本大会は?	○			×	×				
・連盟間の交流大会(東西選手権や関東大会)への連盟内予選の出場は?	○			○	×				
・連盟間の交流大会(東西選手権や関東大会)への本大会の出場は?	○			×	×				
・連盟内での試合、練習。連盟内リーグとの試合、練習は?	○			○	×				
・連盟外での試合、練習。連盟外リーグとの試合、練習は?	○			×	×				
・海外交流大会(遠征、招待)への出場は?	○			×	×				
・U12日本代表の出場は?(該当年齢選手)	○			○	○				

トーナメント規則  
選手の適格性  
2021年記述は日本語版  
ルールブック  
135ページ  
2022年変更はルール  
ブックアプリより翻訳

条文 (赤文字は2022年の追記) (青文字は2021年の変更、緑文字は2022年に削除されたもの)  
条件3: 1人の選手は、一時点では1つのトーナメントチームにのみ所属し、そのチームでのみ練習することになる。リーグ会長、選手係、地区責任者(あるいはその代理人)が、登録書にいったんサインすると、その登録書に記載された選手は、そのチームがトーナメントで敗退するまで、その年の他のトーナメントチームには選抜できない。チームがリトルリーグ国際トーナメントから排除されると、そのチームの所属選手は、次の場合に限り、2番目のチームの登録書に追加される可能性がある。  
1) 選手が、トーナメント参加資格で概説されているすべての資格要件を満たしている  
2) 同一チームの登録書に、追加選手用の空きがある  
3) 選手が、登録書に現在登録されている別の適格選手を置き換えることがないことと  
4) 選手がその部門でプレーできるかどうかの評価がされていること  
4) 選手を前所属トーナメントチームより年上の部門に登録すること  
5) 選手が年上の部門でプレーできるかどうかの評価がなされていること  
追加は、2番目のチームでプレーする前に、地区責任者またはその任命者によって認証される必要がある。  
リトル年齢9,10,11,12,13,14歳の選手は複数のトーナメントチームに選出される資格を持つが、実際に選出されるのは一時点ではいずれか1つに限られる。選手は、一時点では複数のトーナメントチームに選ばれたり、共に練習したり、共に行動してはならない。条件3に記載されている状況でのみ、選手を2番目のトーナメントチームに選出することができる。  
当ルールに違反した場合、トーナメント委員会からトーナメント参加資格を撤回される可能性がある。

